

令和2年度第1回中山間地域振興協議会の概要について

〔広島県地域政策局
中山間地域振興課〕

1 日 時

令和2年10月23日（金） 13:00～13:50

2 場 所

ホテルメルパルク広島 6階「瑞雲（1）」

3 議 題

広島県中山間地域振興計画（第Ⅱ期）[素案]について

4 知事あいさつ（要旨）

新型コロナ危機により、デジタル技術を活用した、時間や場所にとらわれない多様な働き方や暮らし方が注目されている中、今年度で最終年となる「中山間地域振興計画」について、第Ⅱ期となる新たな振興計画の素案を取りまとめた。中山間地域が、ウィズ／アフターコロナ時代にふさわしい生活の豊かさを先取りできる地域として広く認知され、地域への誇りや愛着の高まりに繋げていく好機としていくことが重要である。

本日は、こうした考え方を盛り込んだ「素案」について、幅広く御意見を伺い最終的な計画策定につなげていきたい。

5 主な意見等

- ・ 5年前に掲げた現行計画の目指す姿は達成されたのか。どれだけ成果が上がったのかを評価、整理し、共有いただきたい。
- ・ 「適散適集社会」が求められる中、第Ⅱ期計画では、DXによる課題解決が進むのではないかと感じており、大変期待している。医療と教育（学校の統廃合）という大きな問題を、DXの推進で解決できれば、中山間地域は魅力ある地域として脚光を浴びると思う。ぜひ、県の議論の中でDXを一段と進めていただき、その方向を目指してほしい。
- ・ 高齢化率が高くなる中、高齢者ほどDX（スマホなど）が使えない現実がある。そうした現実がある中で、運転手がない、乗る人がいない、新たな投資ができないなど、課題の多い公共交通について、広島県がリードして、デジタル技術を活用した新しい広島モデルの構築を検討していただきたい
- ・ 過疎地に向かうバスのフィーダー化（可部から北広島までの支線化）によって、補助金、県費が減り、町負担が増えている。支援の計算式の見直しをお願いしたい。
- ・ コロナで空き家バンクへの問合せが増えている。今後は一歩踏み込み、数ある田舎暮らしの中でも特にこういうことが出来るというアピールを考えなければならない。
- ・ 資料25ページの「東京圏等からのU・Iターン等の促進」で、「様々な新しいニーズに応じて、広島らしいワーク・ライフスタイルの魅力発信を行います」との記載があるが、具体的にどういった取組をしようとしているのか教えていただきたい。さらに、数ある都道府県の中で、どういう「広島らしいワーク・ライフスタイル」を発信しようとしているのかお示しいただきたい。

以上